

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月15日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スーパーツール
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月29日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉川 明
 (氏名) 篠畑 雅光

TEL 072-236-5521

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年3月16日～平成23年6月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,086	—	130	—	66	—	36	—
23年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 一百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.58	—
23年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	9,247	5,093	54.7	640.60
23年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,061百万円 23年3月期 一百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年3月16日～平成24年3月15日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	—	370	—	310	—	150	—	18.99
通期	6,600	—	710	—	600	—	310	—	39.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

*平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)1. 当四半期連結会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

2. 当社は、当第1四半期連結会計期間より「世派機械工具(上海)有限公司」及び「YHS株式会社」を連結子会社とし、連結決算による開示に変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	8,245,480 株	23年3月期	8,245,480 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

24年3月期1Q	344,820 株	23年3月期	344,820 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	7,900,660 株	23年3月期1Q	8,120,927 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. (参考) 前事業年度末及び前第1四半期会計期間に係る財務諸表(個別)	10
(1) (要約)貸借対照表(個別)	10
(2) 四半期損益計算書(個別)	12
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書(個別)	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や海外市場の回復により景気の持ち直しが見られたものの、欧州を中心とする金融不安、為替レートの急激な変動、東日本大震災及び電力の供給不安等により景気の見通しが不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社のコア事業であります金属製品事業につきましては、販売活動と生産の効率化を積極的に推し進めてまいりました。また、経営基盤の強化を図るため、環境関連分野に進出すべく4月に太陽光パネル販売の子会社YHS株式会社を設立いたしました。太陽光パネルは当面 Yingli Green Energy Holding Co., Ltd 製を扱うことしておりますが、同社からの初回製品入荷は6月となり、7月より販売開始の予定で進めております。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,086百万円、営業利益は新会社設立費用その他諸経費の増加がありましたが130百万円、経常利益は66百万円、四半期純利益は36百万円となりました。

なお、当社は平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比較は行っておりません。

当第1四半期連結会計期間における報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、IT産業等設備投資の回復、東日本大震災の復興需要等により、当セグメントの売上高は1,083百万円、セグメント利益は216百万円となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業におきましては、東日本大震災、電力の供給不安等により太陽光パネルの需要が高まっておりますが、当社は新会社を4月に設立し、実質的には7月より営業開始の予定で進めております。したがって当第1四半期連結会計期間の売上高はありません。また、開業費等の諸経費が発生したためセグメント損失は13百万円となりました。

(その他)

当セグメントは、不動産賃貸事業の業績を表示しております。

セグメントの売上高は2百万円、セグメント利益は1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,247百万円となりました。

主な内訳は、流動資産では、現金及び預金1,231百万円、受取手形及び売掛金588百万円、製品961百万円及び仕掛品521百万円等であり、固定資産では、有形固定資産4,821百万円、投資有価証券442百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、4,154百万円となりました。

主な内訳は、再評価に係る繰延税金負債1,359百万円、短期借入金800百万円、長期借入金645百万円、1年内返済予定の長期借入金487百万円、支払手形及び買掛金388百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、5,093百万円となりました。

主な内訳は、資本金1,463百万円、資本剰余金342百万円、利益剰余金1,662百万円、土地再評価差額金1,656百万円であります。

なお、当社は平成24年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期比較は行っておりません。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,221百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、税金等調整前四半期純利益 66 百万円、減価償却費 32 百万円及び仕入債務の増加 80 百万円等により資金の増加がありました。売上債権の増加 55 百万円、たな卸資産の増加 157 百万円、前渡金の増加額 209 百万円、法人税等の支払額 99 百万円等により、253 百万円資金が減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、有形固定資産の取得 29 百万円等により、28 百万円資金が減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、長期借入金の調達 200 百万円及び短期借入金 510 百万円の純増等により資金の増加がありましたので、長期借入金の返済 102 百万円及び配当金の支払 47 百万円の支出等がありました。595 百万円資金が増加となりました。

なお、当社は平成 24 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比較は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 23 年 4 月 28 日付「平成 23 年 3 月期決算短信[日本基準]（非連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（注）当社は、当第1四半期連結会計期間より「世派機械工具貿易（上海）有限公司」及び「YHS株式会社」を連結子会社とし、連結決算による開示に変更しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更による損益への影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
 (平成23年6月15日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,231,945
受取手形及び売掛金	588,408
製品	961,589
未着商品	83,660
仕掛品	521,573
原材料及び貯蔵品	227,121
前渡金	209,160
繰延税金資産	28,371
その他	8,777
流動資産合計	3,860,610
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	335,597
機械装置及び運搬具（純額）	221,518
土地	4,171,371
その他（純額）	93,464
有形固定資産合計	4,821,951
無形固定資産	11,056
投資その他の資産	
投資有価証券	442,111
繰延税金資産	65,123
その他	47,773
貸倒引当金	△906
投資その他の資産合計	554,102
固定資産合計	5,387,110
資産合計	9,247,721

（単位：千円）

当第1四半期連結会計期間末
（平成23年6月15日）

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	388,031
短期借入金	800,000
1年内返済予定の長期借入金	487,483
未払金	257,978
未払法人税等	23,487
賞与引当金	8,500
その他	14,995
流動負債合計	1,980,476
固定負債	
長期借入金	645,344
再評価に係る繰延税金負債	1,359,280
退職給付引当金	94,291
その他	75,099
固定負債合計	2,174,014
負債合計	4,154,491
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,463,274
資本剰余金	342,076
利益剰余金	1,662,665
自己株式	△79,158
株主資本合計	3,388,857
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	16,541
土地再評価差額金	1,656,505
為替換算調整勘定	△728
評価・換算差額等合計	1,672,319
少数株主持分	32,053
純資産合計	5,093,230
負債純資産合計	9,247,721

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)
売上高	1,086,000
売上原価	711,701
売上総利益	374,298
販売費及び一般管理費	243,600
営業利益	130,698
営業外収益	
受取利息	1,433
受取配当金	1,013
その他	642
営業外収益合計	3,089
営業外費用	
支払利息	6,752
売上割引	16,705
為替差損	39,030
その他	4,950
営業外費用合計	67,439
経常利益	66,348
税金等調整前四半期純利益	66,348
法人税、住民税及び事業税	21,803
法人税等調整額	11,306
法人税等合計	33,109
少数株主損益調整前四半期純利益	33,238
少数株主損失（△）	△2,946
四半期純利益	36,185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	66,348
減価償却費	32,200
賞与引当金の増減額（△は減少）	△25,100
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,950
受取利息及び受取配当金	△2,447
支払利息	6,752
為替差損益（△は益）	24,468
売上債権の増減額（△は増加）	△55,969
たな卸資産の増減額（△は増加）	△157,666
仕入債務の増減額（△は減少）	80,502
前渡金の増減額（△は増加）	△209,160
その他	87,630
小計	△148,490
利息及び配当金の受取額	2,271
利息の支払額	△6,953
法人税等の支払額	△99,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	△253,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△29,464
投資有価証券の取得による支出	△599
その他	1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	510,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△102,504
少数株主からの払込みによる収入	35,000
配当金の支払額	△47,403
財務活動によるキャッシュ・フロー	595,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,404
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	290,095
現金及び現金同等物の期首残高	894,725
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	37,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,221,892

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業別に「金属製品事業」、「環境関連事業」の2つの報告セグメントとしております。

「金属製品事業」は、作業工具及び産業機器等の金属製品の製造販売をしております。

「環境関連事業」は、太陽光パネル等の環境関連商品の販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月16日 至 平成23年6月15日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,083,120	—	1,083,120	2,880	1,086,000	—	1,086,000
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,083,120	—	1,083,120	2,880	1,086,000	—	1,086,000
セグメント 利益(△損失)	216,894	△13,677	203,217	1,183	204,400	△73,702	130,698

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,217
「その他」の区分の利益	1,183
セグメント間取引消去	2,615
全社費用(注)	△76,317
四半期連結損益計算書の営業利益	130,698

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 前事業年度末及び前第1四半期会計期間に係る財務諸表(個別)

(注) 当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期に係る四半期連結財務諸表は作成しておりませんが、参考までに提出会社における(要約)貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を記載しております。

(1) (要約) 貸借対照表(個別)

(単位:千円)

前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月15日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	904,779
受取手形及び売掛金	532,438
製品	912,495
仕掛品	516,953
原材料及び貯蔵品	206,830
繰延税金資産	40,111
その他	6,190
流動資産合計	3,119,799
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	342,202
機械装置及び運搬具(純額)	236,040
土地	4,171,371
その他(純額)	73,335
有形固定資産合計	4,822,949
無形固定資産	11,411
投資その他の資産	
投資有価証券	399,107
関係会社出資金	51,951
繰延税金資産	82,504
その他	46,767
貸倒引当金	△ 906
投資その他の資産合計	579,426
固定資産合計	5,413,787
資産合計	8,533,586

(単位:千円)

前事業年度末に係る
要約貸借対照表
(平成23年3月15日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金		307,528
短期借入金		290,000
1年内返済予定の長期借入金		363,480
未払金		177,772
未払法人税等		104,170
賞与引当金		33,600
その他		10,162
流動負債合計		<u>1,286,714</u>
固定負債		
長期借入金		671,851
再評価に係る繰延税金負債		1,359,280
退職給付引当金		90,340
その他		75,099
固定負債合計		<u>2,196,570</u>
負債合計		<u>3,483,284</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金		1,463,274
資本剰余金		342,076
利益剰余金		1,680,051
自己株式		△ 79,158
株主資本合計		<u>3,406,243</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		△ 12,448
土地再評価差額金		1,656,505
評価・換算差額等合計		<u>1,644,057</u>
純資産合計		<u>5,050,301</u>
負債純資産合計		<u>8,533,586</u>

(2) 四半期損益計算書（個別）
【第1四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成22年3月16日 至平成22年6月15日）
売上高	957,132
売上原価	653,979
売上総利益	303,153
販売費及び一般管理費	215,524
営業利益	87,628
営業外収益	
受取利息	2,093
受取配当金	740
その他	3,082
営業外収益合計	5,916
営業外費用	
支払利息	6,660
売上割引	15,386
その他	4,183
営業外費用合計	26,230
経常利益	67,314
税引前四半期純利益	67,314
法人税、住民税及び事業税	10,286
法人税等調整額	19,103
法人税等合計	29,390
四半期純利益	37,924

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書（個別）

（単位：千円）

前第1四半期累計期間 （自 平成22年3月16日 至 平成22年6月15日）	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	67,314
減価償却費	33,066
賞与引当金の増減額（△は減少）	△25,900
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△8,418
受取利息及び受取配当金	△2,834
支払利息	6,660
売上債権の増減額（△は増加）	△33,278
たな卸資産の増減額（△は増加）	△6,334
仕入債務の増減額（△は減少）	62,597
その他	55,037
小計	147,910
利息及び配当金の受取額	5,152
利息の支払額	△6,660
法人税等の支払額	△46,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,171
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△12,222
投資有価証券の取得による支出	△600
投資有価証券の売却による収入	200,000
無形固定資産の取得による支出	△1,000
投融資の回収による収入	1,900
従業員に対する長期貸付けによる支出	△2,440
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	285,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△380,000
長期借入れによる収入	150,000
長期借入金の返済による支出	△88,141
社債の償還による支出	△100,000
自己株式の取得による支出	△201
配当金の支払額	△48,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△467,069
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△81,251
現金及び現金同等物の期首残高	1,113,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,032,285